

目黒区エコプラザ指定管理者運営評価結果について

目黒区エコプラザ指定管理者の令和7年度運営評価結果を報告する。

- 1 施設名 目黒区エコプラザ 目黒区目黒一丁目25番26号
- 2 指定管理者 エコライフめぐろ推進協会 目黒区上目黒二丁目19番15号
代表者 相馬 熊郎
- 3 指定期間及び運営評価の対象期間
指定期間 令和6年4月1日から令和11年3月31日まで（5年間）
評価対象期間 令和7年4月1日から令和8年3月31日まで
- 4 運営評価の方法
「目黒区付属機関の設置に関する条例」に基づき設置された目黒区エコプラザ指定管理者運営評価委員会（構成員は別表のとおり）において、指定管理者から提出された事業報告書、利用者のアンケート結果、指定管理者の自己評価及び施設の視察について、あらかじめ定めた基準に基づき評価を行った。
- 5 事業報告書の概要
別紙「目黒区エコプラザ事業報告書（概要）」のとおり。

6 施設運営に係る区の歳入・歳出決算額の推移

（単位：円）

項目	元年度 (4期1年目)	2年度 (4期2年目)	3年度 (4期3年目)	4年度 (4期4年目)	5年度 (4期5年目)	備考
歳入	481,775	108,900	86,775	153,925	180,162	活動室使用料収入（令和5年度まで）
歳出	26,995,560	27,120,000	27,000,000	27,000,000	27,000,000	運営管理経費
項目	6年度 (5期1年目)	7年度 (5期2年目)	8年度 (5期3年目)	9年度 (5期4年目)	10年度 (5期5年目)	備考
歳入	0	0				
歳出	37,746,041	43,830,262				運営管理経費

7 指定管理者の自己評価結果（点数は小数点第2位を四捨五入）

自己評価	85.3点：十分水準を超えていた
------	------------------

8 総括評価結果（点数は小数点第2位を四捨五入）

総合評価	84.7点：十分水準を超えていた
------	------------------

9 評価内訳

評価項目	内 容	配点	得点
1 事業の実施 に関する事項	(1)事業計画に関する理念及び基本的な方針	20	17.75
	(2)環境負荷の低減に関する講座・講習会に関すること。	10	9
	(3)環境負荷の低減に関する情報収集・提供に関すること。 (情報室関係)	10	8.25
	(4)施設の利用に供すること。 (環境学習室、展示コーナー及び環境保全団体支援コーナー関係)	10	9
	(5)不用物品の再生に関すること。(回収した資源の活用取組)	10	8.25
	(6)不用物品の販売又は交換の場の提供に関すること。 (リサイクルショップ関係)	10	8.50
	(7)環境負荷の低減に関する活動を行う団体の育成に関すること。	10	8
	(8)関係機関との連携（学校や地域団体等）	20	17
2 管理運営に関 する事項	(1)経営状況及び事業実績	10	8
	(2)管理運営の効率性	10	8
	(3)管理運営に必要な人員体制	10	8
	(4)安全管理・個人情報保護	10	8.25
	(5)意欲・熱意	10	9
合 計		150	127
		84.7 (100点満点換算)	

・点数は小数点第2位を四捨五入

・評価項目1の(1)及び(8)については、内容の重要性に鑑み、配点を20点としている。

所 見	1 サービス・事業 ・2050年ゼロカーボンシティへの市民認知向上に資する体験イベントも積極的に開催できており、目黒区エコプラザのフロア全体の効果的な活用として、環境団体の成果と活動のアピールは一体感の醸成の意味でもよい取組であり、事業運営への取組は高く評価される。区内で環境に関心を持つ人たち・団体に開かれた目黒区エコプラザを目指してほしい。 ・保育園児から高齢者までの幅広い利用者に対して、各種団体や大学サークルと連携し、環境意識の醸成を実現した。リサイクル工場の見学や各種環境イベントへの参加により、計画的に職員の能力向上を図ることができた。 ・DIY こども工作教室や親子ふれあい自然体験、出前講座などの、各種学校や地域団体との連携を図った取組は、環境意識醸成やエコプラザの認知拡大に結び付いた。企業や大学サークルとの連携も出来ており、出前講座参加者が延べ1000人
-----	---

所 見	を超えていることは、目黒区エコプラザの継続的な活動が区民に徐々に認知されつつあることが見出される。今後も安定的かつ継続的な事業運営を期待したい。 ・インスタグラムによる情報周知なども継続できている。職員研修についてもその意図と成果が見出されており、業務遂行に対する高い意欲・熱意が確認された。これらは高く評価される。 ・前年度はコロナ対策で縮小していた外部との連携やイベント開催などを積極的にリスタートできた１年間であり、本年度では安定的に継続できている。前年度でリサイクルショップ収益が減少したものの今年度は改善できており、リサイクルショップ運営を創意工夫しながら適切に実施できている。 ・環境学習室を活用したワークショップや講座など、多様な環境学習機会を計画通り着実に実施した。木のおもちゃで遊べるコーナーを設置し、体験を通して環境意識の醸成を推進した。 ・小学生の取り組みについては着実な前進がみられる。中高生については難しい部分もあるが、中長期的な課題として、大学サークルとの関係をうまく活かし、探求学習の拡大の中でエコマスターなどをきっかけに環境問題に関心を持った子供たちが、彼らのサポートを得ながら、主体的な学びを展開してほしい。 ・事業計画に基づき、環境推進員養成講座を終了した団体に企画運営を委託して、めぐろエコサポーターを対象にした小水力発電施設見学ツアーを実施したことは、めぐろエコサポーター間の交流につながった。SNSを活用した情報発信や、めぐろエコサポーターを対象とした見学企画など、新しい取組も積極的に行った。 ・環境推進員養成講座が継続的に実施され、羽毛回収に関わる大学生サークルと新たに交流を持つなど育成支援事業を継続できている。これらの取組は高く評価される。 2 利用者対応 ・緑を基調としたカラーリングや椅子など木材の活用、利用内容を踏まえたシンプルで機能的な配置など、エントランスをはじめとした空間利用に目に見える改善が見られた。エントランスのプロジェクターで放送している動画についてはタイトルと上映時間が示されるとよい。 ・ロビーで掲示する情報や情報室の視認性改善により、利用者がスムーズに環境情報に接する動線づくりを実現した。また、引き続きインスタグラムなどのSNSを積極的に活用し、環境保全活動につながる情報提供を行い、若年層に対して環境意識と行動への意欲を高めた点が高く評価される。継続性の点で素晴らしい反面、さらなる改善を期待する。 ・近年のフードロスへの社会的関心に対応する貸出図書の選定など、情報提供のあり方を工夫する取組が継続できている。 ・護美アートなど展示のあり方について前例踏襲に留まらずに積極的に創意工夫して利用者の満足度を上げようと試みており、継続的な改善に向けた努力が明確に見出される。バスボムや紙漉き体験など満足度が高いイベントも継続的に開催できており、高く評価される。 ・衣類などの回収量向上に向けた創意工夫への期待については、資源回収ボックスの統一化と配置の最適化によって、利用者の利便性を向上させている点が高く
--------	--

所 見	評価される。 ・高齢利用者の利便性改善のための通路の拡張、多言語対応の強化、シーズンごとの模様替えや商品の入れ替えなど細かな改善がなされている。利用実態を考えると中長期的には利用者アンケートの項目を見直した方がよいと思う。また、外国人の意見を吸い上げる検討をお願いしたい。 3 安全管理・個人情報管理 ・緊急事態にも対応できる体制づくりを行っており、適切な管理体制が構築されていた。 ・安全管理や個人情報管理、人員配置については昨年度から継続的かつ適切に実施されており、高く評価される。今後も問題なく実施することが期待される。 4 運営管理 ・すべての事業は安定して経営されており、高く評価される。リサイクルショップの収益が前年度は減少したが、寄付品の予約受付や上限点数の設定、各種プロモーション企画などの実施により、今年度は各販売点数や売上金額は増加と改善しており、前々年度を超える改善を今後は期待したい。 ・業務に関する豊富な知見・経験を活かして、事業計画に基づき業務運営を行うことができたが、各種経費項目について予算決算数値の乖離幅が大きいものがあり、計画策定時の経費積算の改善が必要と思われる。 ・運営に対する熱意は今年も感じられた。視察の際に複数の職員の方から説明をいただくことができ、属人的な運営になっていない点でよかった。 以上から総合的に判断して、指定管理者の管理の業務は、「十分水準を超えていた」と評価できる。
-----	---

(別表) 目黒区エコプラザ指定管理者運営評価委員会構成 (敬称略)

職	職名	氏 名
委員長	・ 東京科学大学教授	高橋 史武
副委員長	・ 東京大学大学院教授	梶田 真
委員	・ 中小企業診断士	伊東 康夫
委員	・ 目黒区産業連合会会長	青木 茂

(参考 評価区分)

区分	十分水準を超えていた。	水準を超えていた。	水準に達していた。	水準に達していない。	かなり水準を下回っていた。
評価結果 (100点満点換算)	80点以上	80点未満 70点以上	70点未満 60点以上	60点未満 50点以上	50点未満

以 上

目黒区エコプラザ事業報告書（概要）

1 施設の概要

施設名	目黒区エコプラザ
所在地	目黒区目黒1-25-26 田道ふれあい館地下1階
施設	情報室 / 打ち合わせコーナー / 環境学習室 / リサイクルショップ / 資源回収コーナー / 環境保全活動団体支援コーナー
事業内容 (条例上の各規定)	1 環境への負荷の低減に関する講座及び講習会等を実施すること。 2 環境への負荷の低減に関する図書その他の資料を収集し、利用に供すること。 3 不用物品を再生すること。 4 不用物品の販売又は交換の場を提供すること。 5 環境への負荷の低減に関する活動を行う団体を育成すること。 6 エコプラザの施設を利用に供すること。 7 前各号に掲げるもののほか、区長が必要があると認める事業

2 指定管理者の概要

団体名	エコライフめぐろ推進協会
所在地	目黒区上目黒二丁目19番15号
代表者	理事長 相馬 熊郎
指定期間	令和6年4月1日から令和11年3月31日まで（5年間）
受任業務	上記事業内容と同じ。

3 事業の実施状況

主な実施状況は表1、表2のとおりである。

また、SNSでの情報発信を強化し、環境意識と行動変容への意欲を高める機会を提供した。

表 1. 令和 7 年度の主な講座等一覧表

5 月	出前講座（大学）、めぐろエコサポーターステップアップ講座バス見学会
6 月	出前講座（児童館、保育園）、サロン・エコライフ、修理コツコツ講座
7 月	出前講座（自治会）、キッズチャレンジ講座（DIY）、打ち水大作戦、めざせ！エコマスター（7/19～8/30）、子ども服の交換会（7/3～5）
8 月	出前講座（児童館）、サロン・エコライフ、打ち水大作戦、
9 月	出前講座（児童館・小学校）、環境推進員養成講座
10 月	出前講座（児童館・小学校）、親子ふれあい自然体験、区民まつり（リサイクル着物セール、ダウン回収、おもちゃくじ等）、環境推進員養成講座
11 月	出前講座（児童館・小学校）、エコまつり・めぐろ 2025（紙芝居、めぐろエコトイズ（木育コーナー））、環境推進員養成講座、東部ふれあいフェスティバル（何でもつくり隊紹介）、子育て交流ひろば 0123（子ども服の交換会）、
12 月	出前講座（児童館・小学校）、環境推進員養成講座、修理コツコツ講座
1 月	出前講座（児童館）、田道ふれあい館まつり（ソプラノコンサート、手づくりマーケット等）、子ども服の交換会（1/29～31）、エコプラザ見学受入れ（保育園）
2 月	出前講座（小学校、学童保育クラブ）、修理コツコツ講座
3 月	出前講座（小学校、学童保育クラブ）、サロン・エコライフ

表 2. リサイクルショップの状況

	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度
受付点数	27,794 点	31,177 点	28,352 点	25,958 点	27,605 点
販売点数	22,903 点	26,157 点	25,991 点	24,784 点	25,818 点
販売金額	5,641,201 円	7,573,425 円	7,734,728 円	7,360,686 円	7,619,950 円

4 管理経費収支状況（指定管理者の収支決算の状況）

（単位：円）

項 目	7 年度	備 考
収入額（①）	47,496,262	区からの受託料、リサイクルショップ売上
支出額（②）	47,469,470	人件費・管理運営費・事業費
差引（①－②）	26,792	

5 要望・苦情対応状況報告（要望・苦情についての内容・対応／4件）

内 容	対 応
リサイクルショップの商品の値段が高いのもっと下げてほしい（2件）。	要望があることを職員に周知した。
営業時間内に目黒区エコプラザに電話したところ、営業時間外であるとメッセージが流れて繋がらない（2件）。	留守電の解除漏れだった。職員に周知徹底の上、再発防止のため、電話に留守電解除と書いたカバーをかぶせ対応した。

6 サービス向上のための努力事項

内 容	効 果
より多くの若年層の取り込みに向けた取組	中高生のためのタウン情報誌「めぐろう」の取材に協力し、中高生向けに目黒区エコプラザ事業の発信を行うとともに、小学校・保育園・児童館等で出前講座を開催した。
目黒区エコプラザのエントランスの効果的な活用	目黒区エコプラザ利用者へ脱炭素やゼロカーボンへの意識啓発として、来館者参加型の「護美アート（※）」とともに、環境推進員養成講座の受講生が発表した資料を展示し、目黒区エコプラザに気軽に立ち寄れる雰囲気づくりを行った。 （※）護美アート…廃棄されるゴミを素材として使用し、新たな作品として生まれ変わらせるアート。

7 アンケート結果 (※)

内容	実施時期	回答数	質問項目数
ショップ利用者アンケート	R8.1.17・19	102	9（来店経験、来店のきっかけ等）
	来店経験 初めて 15.7% リピーター 84.3% 未回答 0% 陳列 良い 65.8% 普通 30.4% 不満 1.3% 未回答 2.5% 接客 良い 73.1% 普通 21.8% 不満 1.3% 未回答 3.8%		
修理コツコツ講座 アンケート（包丁 研ぎ講座）	R7.6.13～14、 R7.12.20・22 R8.2.14・16	136	8（情報の入手方法、講座の内容、今後の希望等）
	わかりやすさ（5段階評価） 難しかった ← 0.0% 0.7% 4.4% 13.3% 81.5% → 分かりやすかった 講師やスタッフの対応（5段階評価） 悪かった ← 0.0% 0.0% 3.0% 9.6% 87.4% → 良かった 環境への意識や行動（5段階評価） 変わらない ← 0.7% 0.0% 19.3% 20.0% 60.0% → 変わる		

※ その他、出前講座（児童館）参加者アンケートを実施した。

8 8年度に向けた改善提案

区内で環境に関心を持つ人たち・団体により一層開かれた目黒区エコプラザを目指すため、目黒区エコプラザのスペースを使って環境団体の成果や活動をアピールしていくとともに、SNSを積極的に活用し、さらなる事業周知に取り組む。

また、小学生だけでなく、探求学習の拡大の中で、中高生にとっても環境問題を身近にしていくため、大学生のサポートを得ながら主体的な学びの展開を図っていく。

リサイクルショップの運営については、近年増加している外国人利用者の意見も吸い上げ、より利用しやすいショップとなるよう工夫する。

さらに、事業計画に基づいた適切な予算執行を行うとともに、社会動向や区民等の関心を的確に捉える事業を実施できるよう、職員の企画力・実行力を一層向上させるため、職員研修などにより人材育成を図っていく。

以 上